



発行所

岐阜農林高等学校
同窓会事務局

TEL <058> 324-1145

<http://www.ginou-douso.org/>

フラッグシップハイスクール としての岐阜農林高校



岐阜県立岐阜農林高等学校

校長 田中 治

新天皇のご即位とともに、新たな時代「令和」を迎えました。本校同窓会員の皆様方におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また日頃より本校の教育活動に対しましてひとやかならぬ、ご理解とご支援を賜り深く感謝申し上げます。

私は、今年四月一日に前任校である大垣養老高校より、校長として着任させていただきました。どうぞよろしくお願いたします。さて、岐阜農林高校は私自身が新任教員として配属され教職人生を歩み始めることになった高校であり、新米教師から十五年間、教員としての基礎形成期を過ごさせていただいた学校でもあります。昭和五十八年の着任以来、十五年間で山川充夫先生、福井豊海先生、長沢陽一先生、安藤忠美先生、原隆男先生、林茂則先生、六名の校

長先生方にお任せし、農業教員としての実践の在り方をご指導いただきました。また、部活動では三年間男子バスケットボール部の顧問として荒井強平先生のもとでバスケットボールのコーチを手伝わせていただいたことを懐かしく思い出します。

特に本務である農業教育の教員としては、専門である酪農部門を担当しておりましたので、大学時代の専攻をそのまま授業に生かすことができたのは大変恵まれていた環境でありました。しかしながら一方で、当時の畜産科は女子生徒からの人気も低く、時折志願者の定員割れも招くという状況で、林校長先生から畜産科の将来構想の宿題を出され、老朽化した施設設備の再整備計画と学科の教育課程の見直しに取り組み、現在のフリーストール牛舎及びミルクینگ

同窓生必読の

親しい便り。

農林の指針

一人でも多く

読みましょう。

(希望者は事務局まで)

購読料 年3回発行(郵税共)
年1,000円

印刷所
岐阜文芸社

パーラーの基本設計図の作成に時間を費やしていたことが脳裏に蘇ります。

その後二十一年間を経て再び校長として着任させていただくことになった光栄に感謝するとともに、与えられた重責に身が引き締まる思いをしております。

本校は平成三十年度より、国指定の「スーパープロフェッショナルハイスクール」と県指定の「理数教育フラッグシップハイスクール」の指定校として教育活動の一層の推進に取り組んでおります。この二つの指定事業の目的は、農業の専門高校の視点を生かして、現代社会で求められる、「根拠をもって思考する力や説明する力」、「課題を見つけ解決する力」を身に付け、科学技術の発達に貢献できるグローバル・リーダーや、地域課題を探究し解決できる人材を育成することです。

本校が新しい令和の時代にあっても、農業教育のみならず、本県はもとより全国の産業教育を担う高校の「旗艦」であるべき、フラッグシップハイスクールとしての使命をしっかりと果たしたいと考えています。今後とも変わらぬご支援をお願いいたします。ご挨拶いたします。

金幣社 大井神社

宮司 園部 隆雄(昭和27年生卒)

〒501-0431
岐阜県本巣郡北方町北方216
電話(058)3231063

中衛工業株式会社

代表取締役
関谷 俊征

◎岐阜支店
岐阜市六条南3-6-9
tel.058-274-8881
fax.058-274-8860

◎本社
名古屋市中南区鶴里町3-11
tel.052-811-8111
fax.052-811-8311

<http://www.chuei.com>

丸栄コンクリート工業株式会社

本社 千五〇一六二九三

岐阜県羽島市福寿町間島一五一八
TEL (058) 3910700

明日をかたちづくる

森林総合プランナー
森林整備・木材生産・造園土木

株式会社 木の国

代表取締役会長 遠藤 一美
代表取締役社長 遠藤 雅樹
技術 参与 遠藤 一二己

本社 千502-0812
岐阜市八代2-7-19
TEL (058) -231-5112
FAX (058) -231-4429

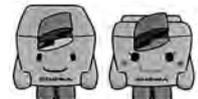
支社 洞戸・山県

昭和コンクリート工業株式会社



本社 千五〇〇一八七〇三 岐阜市香蘭一丁目一番地
TEL (058) 25513333
代表取締役 村瀬 大一郎

クリーンな未来を。



株式会社 スグスイ住設

代表取締役
杉山 卓雄
(昭和54年農卒)

- 給排水空調設備工事
- 住宅水廻りリフォーム
- 住設ショールーム
- 雑貨 ガーデニング 喫茶

〒501-0531
事務所・ショールーム
揖斐郡大野町上磯67-1
☎0585-34-2487

本校職員の異動

〈退職者〉

渡邊 千洋 (校長)
 守屋 康晴 (教頭)
 岩佐 孝 (数学)
 小泉 淳 (数学)
 高橋 恭二 (体育)
 本校再任用
 上田 直輝 (理科)
 加藤 和宏 (事務部長)

〈転出者〉

久松 一郎 (地歴公民)
 各務原高校
 山田 祐治 (体育)
 岐阜総合学園高校
 塚原 寿憲 (農業)
 大垣養老高校
 松井 史博 (農業)
 加茂農林高校
 大矢 英樹 (農業)
 大垣養老高校 教頭
 安藤 耕作 (農業)
 岐阜県教育委員会
 熊谷 勇哉 (農業)
 大垣養老高校
 佐藤 祐介 (農業)
 新規採用
 大垣養老高校
 植村 咲希 (事務)
 岐阜県庁

〈転入者〉

田中 治 (校長)
 大垣養老高校
 伊藤 力 (教頭)
 郡上高校
 荻田 重睦 (地歴公民)
 郡上高校
 大坪 尚子 (数学)
 武義高校
 平出 真未 (数学)
 各務原西高校
 岩田 貴裕 (理科)
 新規採用
 宮崎 泰彦 (体育)
 大垣工業高校
 岡田 秀樹 (農業)
 加茂農林高校
 松尾 正 (農業)
 大垣養老高校
 浅野 淳 (農業)
 大垣養老高校
 松原 有希 (農業)
 新規採用
 椿井 真理恵 (農業)
 新規採用
 相崎 咲英子 (芸術)
 新規採用
 野村 悠奈 (農業)
 新規採用
 野々村 篤司 (農業)
 大垣養老高校
 大坪 太陽 (農業)
 新規採用
 高木 剛 (事務部長)
 岐山高校
 瀬戸 英理 (事務)
 県教育委員会
 松田 龍弥 (事務)
 新規採用



ご勇退職員の挨拶



お世話になり、
 ありがとうございます
 前校長 渡邊 千洋

この春、日本一の農業高校である岐阜農林高校において、37年間の教員人生を締めくくることができました。

私は、岐阜農林高校では教頭として2年間、校長として2年間の併せて4年間を過ごさせていただきましたが、実に濃厚な時間でありました。

振り返りますと、平成26年4月に教頭として岐阜農林高校に着任いたしました際には、平成24年度より文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール事業」(SSH)や独立行政法人工業所有権情報・研修館から「知的財産に関する創造力・実践力・活用力開発事業」に採択されており、この2つの事業の推進とともに、特色ある学科運営に対する助言に一生懸命であったことを思い出します。

また、この折には毎朝の日課として、玄関前の清掃と校内及び学校農場を巡回しながらゴミ拾いをしてみました。岐農三訓の一つである「場を清め」を実践したわけですから。

平成28年度には、大垣養老高校へ校長として異動いたしました。しかし、この時には、岐阜農林高校を外から見るといえることができ、客観的に優れた点と、より力を入れるべき点について知ることができました。

平成29年には、再び岐阜農林高校に校長として着任することとなりました。この時には、SSH事業は1期5年と経過措置1年の併せて指定6年目となっておりますが、私は岐阜農林高校におけるSSH事業の役割を終えたと判断し、平成30年4月からは、「スーパープロフェッショナルハイスクール事業」(SPH)の指定を受け、地域の食・農・環境の持続的な発展に貢献する人材育成の研究に取り組みました。また、併せて同じく平成30年4月から岐阜県教育委員会の指定を受け、「理数教育フックアップハイスクール事業」を推進することとなりました。

SPHでは多くの先進的な取組をしましたが、中でも「農業生産工程管理」(GAP)の取組と「マクワウリに関する研究」など多くの研究活動が内外から評価され、度々の教育長表敬訪問をさせていただきましたことも大きな思い出であります。

それにしても、農業の教員として最後に岐阜農林高校に勤務できましたことは、この上ない喜びであり栄誉でありました。

お世話になりました。



平成28年4月から3年間教頭として勤務させていただきました。

前教頭 守屋 康晴

スーパーサイエンスハイスクール指定事業から知的財産教育に関する事業、スーパープロフェッショナルハイスクール事業に加え、理数教育フックアップハイスクール事業など様々な事業を通して幅広い農業に関わる研究活動を実施し、多くの生徒が活躍できる学校でした。

また、早朝から校舎の周りをラニングしている陸上部、グラウンドでは、野球部やソフトボール部、体育館ではバスケットボール部などが活動し、放課後は、運動

系のほか文化系の演劇部をはじめ多くの部が遅くまで活動しています。そういった生徒の日々の努力が、毎年全国で活躍できる原動力になっていると思います。

今年度岐阜農林高校が、新聞に掲載された回数は120回を超えています。地域の方から「岐阜農林はがんばっているね」「岐阜農林はすごいね」とかよく聞きますが、この「がんばっている」、「すごい」の基は、日々一生懸命に活動している研究活動や部活動が大いに関わっていると思います。そして、このことは、100年を超える岐阜農林高校の伝統の力であり、同窓会の力だと思っています。

そのような素晴らしい学校で教員生活を終えることができ、本当にありがとうございました。

「転出職員の挨拶」

感謝の10年！

山田 祐治



先日、一通の手紙が届きました。その手紙にはこんなことが書かれていました。

「厳しい研修を直向きに頑張っています。同期の研修生は、あまりの厳しさに気持ち沈んでいますが、私は驚くほど元気に研修を受けています。高校3年間、バス

ケ部で山田先生のもとで過ごした日々がこの環境でも生きています。精神的・肉体的にも余裕があり、自分だけでなく周りの人に目を配りながら先の先頭に立ち頑張っています。」と他にも高校3年間の思い出を綴った心の温まる手紙をいただきました。まさに私がバスケットボールというスポーツを通して伝えなかったことがたくさん書かれていました。平成元年、私は岐阜農林高校1年生でした。本

当に厳しく辛い毎日でした。しかし、その3年間があったからこそ今の自分があると今でも思っています。私と同じ思いを持った卒業生がいてくれたことに大変嬉しく思いました。

私はバスケットで日本一を目指しました。しかし叶いませんでした。岐阜農林での10年間、素晴らしい先生方、岐阜農林を応援していただいた方々、そして大好きな生徒たちに囲まれ大変幸せな10年でした。バスケットの監督として日本一にはなれませんが、体育の先生として日本一幸せな先生になれました。本当にありがとうございました。

お世話になりました

安藤 耕作



岐阜農林高校では、5年間勤務させていただきました。勤め

始めたころは、母校でありながらも不安と緊張感を抱きながら、毎日を慌ただしく過ごしたことを今でも憶えています。一方で、母校である岐阜農林高校に安心感をもって、それが支えとなって日々の生活に弾みがつき、母校だからこそ、苦しい時も頑張ろうと踏ん張ることができたと、今、学校を離れてひしひしと感じております。

最近、この岐阜農林高校に対する「安心感」とは、一体何だったのだろうかと考えることがあります。私が卒業してから二十年以上、百十九年の長い歴史をもつ岐阜農林高校であって、同窓生の皆さんからしてみると、二十年はまだまだ短いほうだと思えるようになるかもしれません。短い二十年といっても、学校、そして生徒、さらには

所在する北方の町の様子は大きく変わったように思います。生徒が毎年変わるの当たり前前、学校の施設設備も時代とともに形を変えてきた。それは確かなことです。しかし、いまだに学校の至るところに当時の面影が残っている。教室の間取りであったり、教室から眺める景色であったり、突き抜けるように伸びる大木、先輩が残してくださった奇贈の木々、農場の広さ、校地を横切る川のよどみ、舗装されていない砂利道。そして、はつらつと学校生活を送る今の生徒の声や姿さえも、面影として高校生だった「あの時の自分」に重

ねていることに気が付きました。勤務させていただいた五年間には、たくさん思い出があります。それとは別に、学校を変えていくこととする自分と、高校生当時と変わらない岐阜農林を求めてきた自分が心のどこかにおいて、変わってほしくない岐阜農林を探し続けることで、「安心感」を得ようとしてきた五年間でもありました。このことは、私にとって大きな心の支えとなりました。今、振り返ると母校である岐阜農林高校で生徒とともに生活ができたことに誇りをもっています。

きっと、多くの同窓生の皆さんも、当時の思い出は深く心に刻まれていることと思います。岐阜農林高校には数々の思い出が「もの」として残っており、そして、何十年も前の時代を思い起こさせる空気感や懐かしさも残っています。生徒も学校も飛躍的に発展している岐阜農林高校に期待を抱きながらも、私は、長い歴史と伝統によって生まれた不動の岐阜農林高校も大切に想い、これから先の一歩を踏み出す糧としたいと思っています。

最後に、岐阜農林高校、岐阜農林高校同窓会が益々発展されますことを祈念し、お礼のご挨拶とさせていただきます。お世話になりました。そして、本当にありがとうございました。

活躍する同窓生

☆「農業に浸かってあっとい間に16年！」☆

トヨタ株式会社

大野 真奈美さん (平成18年 生物工学科卒)

私は平成15年に岐阜農林高校生物工学科へ入学し、平成18年に卒業しました。平成から令和へ元号が変わる今年、トヨタ株式会社に就職してちょうど10年が経ち、中堅社員と真ん中の11年目をスタートしたところです。

岐阜農林高校受験の志望動機は、普通科でなく専門的な学問を学んでみたかったこと、農業に興味があったこと、バイオテクノロジーという中学生から見ると最先端だと感じる技術を学べる生物工学科が面白そうだと感じたことです。

在学中は、白衣を着て、無菌室でひたすらカーネーションの成長点を摘出し、組織培養の実習をしたことが記憶に残っています。美術や技術家庭科が好きで、自分は細かな作業が得意だと思っていたのですが、ピンセットで成長点をつまむ作業、これがなかなか難しい。取り出したつもりが全く違う組織だったり、雑菌を入り込ませて培養に失敗したりと苦戦しました。今、高校時代を振り返ると、組織培養を仕事にする職業は限られるでしょうから、とても貴重な

体験ができたと思います。現在の職場のお客様とお話しするときに、たまにこの組織培養が話のネタになります。

高校卒業後は農学系の大学へ進み、植物環境制御学を学ぶ研究室に所属していました。研究室の教授からはハウレンソウの養液栽培に関する研究と、堆肥の発酵熱を使った根圏加温の研究の2つのテーマを頂き、大学4年生は植物が育つ栽培環境に関わる研究に没頭しました。

高校、大学生活を送る中で、農業に対する関心がさらに高まり、就職活動では農業に関係した会社に就職したいとぼんやり考えるようになりしました。しかし、就職活動中は、自分が本当は何をしたのか、どんなことなら頑張れそうなのかよくわからなくなっていました、就職活動を中断してみたり、大学院進学を考えてみたり、紆余曲折しました。あまり模範的な就活生ではありませんでしたが、同級生からは少し出遅れた4年生の秋に、トヨタネの募集を偶然見つけ、採用試験を受けました。トヨタネは、種苗、農業資材、ハウス、栽培システムを販売している会社です。農家の種まきから収穫までのすべてを支えようとする会社の取り組みに感銘を受け、入社を決めました。

トヨタネ入社後は、研究農場という部署で2年間トマトの栽培などを担当しました。その後は、養

液栽培や環境制御に関する商品部を扱う部署に異動し、現在は施設園芸農家様の栽培サポートを担当しています。

養液栽培やハウスの環境をコントロールする商品は、うまく使えば商品です。私は、初めて商品に触れるお客様が使いやすい、そして収穫量が増えるように、栽培管理のアドバイスをする仕事をして



います。高校や大学で栽培環境に関する授業を受けていましたが、学生時代の知識が役立つ職場に出会うことができ、私は本当に幸せです。担当エリアが中部から関東に及び、大変広い営業範囲にたくさんのお客様がいます。長距離運転や出張が続きますが、旅行気分

で移動の時間も楽しみなが、お客様から頂ける「いつもありがとう」の言葉を励みに毎日頑張っています。就職して10年経った今、職場の後輩もたくさん増えました。トヨタネに魅力を感じ、将来に期待をして入社してくださっている後輩たち、また、現在高校生や大学生で、これから農業関係の会社就職したいと考えている学生さんたちの期待に応えられるような社員

を目指して頑張っていきたいと思

います。農業に興味がある：なんとなくの気持ちで岐阜農林高校に入学しましたが、このなんとなくが高校から社会人までの人生の道を決めました。岐阜農林高校で学ぶことができ本当に良かったと思っています。

揖斐川支部活動報告

(その32)

①平成31年度揖斐川支部 通常総会開催

平成31年3月2日(土) 17時30分から揖斐川町谷汲門前「立花屋旅館」において、会員35名とご来賓として池田支部から3名、本校同窓会大西会長、辻先生をお迎えし総会を開催いたしました。

設立してから12回目の総会を迎えました。

会員物故者の黙祷、母校校歌斉唱、高田善信支部長のあいさつ、本校同窓会大西会長様にごあいさつをいただき、1)平成30年度事業報告及び収支決算(案)の承認、2)平成31年度事業計画及び収支予算(案)について審議され、原案どおり承認されました。

総会終了後、懇親会が盛会に開催され、話に花を咲かせ、和やかな内に2時間余りの楽しい宴会を終え、次回盆前の夏季懇親会まで元気でと宴を閉じました。

本年度会員86名で、4つの同好会(①野菜②ハイキング③ゴルフ④旅行)に加入し楽しく交流しています。揖斐川町に在住の卒業生の皆様のご入会をお待ちしています。各地区の役員さんへご連絡ください。(記事) 支部幹事長 林孝芳 林41

部活動報告

(H31年2月〜4月)

◎女子バスケットボール部

東海新人大会出場

◎相撲部

【全国選抜高校相撲弘前大会】

団体の部 ベスト16
3B 松橋 3N 後藤

2N 織田 2N 吉田 予選

一回戦 本校3-0 五所川原商業

二回戦 本校2-1 新名学園旭丘

三回戦 本校2-1 金足農業

決勝トーナメント

一回戦 本校0-3 海洋

【全国高校相撲選抜大会】

個人無差別級
3B 松橋 二回戦敗退
2N 織田 一回戦敗退

◎女子バスケットボール部

【東海新人大会】

一回戦 本校69-107 安城学園

◎硬式野球部

【春季岐阜県高等学校野球大会岐阜地区大会】

一回戦 本校4-5 岐阜卓東

敗者復活戦
本校10-11 岐阜卓北

◎書道部

【全日本高等学校書道コンクール】

大賞 3F 西田彩乃

◎植物プロジェクト部

【NFD全国高校生
フラワーデザインコンテスト】
NFD奨励賞アレンジメント部門
2H 安藤聖真
NFD審査員ノミネート賞
3H 宮田奈佑

◎美術部

【ジュニア油絵展】
奨励賞 2E 安藤こと葉

本校の実習製品紹介

「岐農の逸品②」

本校で栽培しているトマトは、大玉品種のマイロック、TYみそらの2品種を栽培しています。季節によっては、果実の色が黄色の桃太郎ゴールド、中玉トマトの華小町や、緑・黄・黒・桃・橙などのカラフルトマトも栽培しています。栽培は、8月に定植し10月から翌年の7月頃まで収穫・販売を行っています。

本校のトマトの大きな特徴は、化学農薬を一切使用しないで栽培を行っていることです。登録されている微生物資材や、天然油脂を毎週散布し、病害虫の発生を抑制しています。研究当初は、経費の増加と労働力の増加が大きな課題となっていました。そこで、病害虫の発生状況を確認し、ピンポイントで散布することで、経費の減少だけでなく労働力の軽減につながる結果となってきました。こうして、出来上がったトマトは、生食はもちろんですが、洋菓子やパンにも使われています。



小さな子供からご年配の方まで安心して食べられるトマトになっています。もちろん、病気の被害株もほとんど見られることもなく、生産量も向上しています。

今年度は、GLOBALG.A.P取得に向けた取組を、行っているだけでなく、認証を目指しています。トマトは、生産者によって同じ品種でも大きく味が変わります。一度



(文責 酒井 治)

会員の動向

◆計報

四井英俊(昭和43年林業科卒) 平成31年1月15日 逝去

◆恩師ご逝去

田中 猛 平成31年2月21日(88才)

総会の案内

日時 10月6日(日) 15時30分
会場 ホテルグランヴェール岐山

多くの同窓生の参加をお待ちしております。詳細は次号に掲載します。

平成30年度 卒業生学科別進路状況

進路先/学科	流通科学		園芸科学		動物科学		森林科学		環境科学		食品科学		生物工学		合計		総計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
就職	生産技術	0	1	0	0	0	0	0	0	10	0	0	0	0	10	1	11	
	製造・加工	1	2	0	2	0	0	11	2	1	0	1	5	2	1	16	12	28
	事務	0	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	7	7
	販売・営業	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	2	4	6
	サービス・飲食	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	5	5
	保安	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	農林業	0	0	0	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1	3	4
	輸送・運輸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	建設・測量	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	1	2	3
	医療・看護・福祉	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	公務・公団・農協その他	1	2	1	1	1	0	5	0	6	0	0	0	0	0	14	3	17
計	2	11	2	9	2	2	19	3	18	1	1	15	2	1	46	42	88	
進学	国公立四大	0	0	0	0	0	3	0	0	1	1	0	0	2	3	3	7	10
	私立四大	4	5	1	6	2	8	9	1	6	0	2	5	15	4	39	29	68
	国公立短大	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	0	4	4
	私立短大	0	4	1	5	1	0	1	0	0	0	0	6	1	0	4	15	19
	農業関係学校	2	0	2	4	2	4	2	0	0	0	0	0	2	0	10	8	18
	職業訓練校	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	4	0	6	0	6
	専修・専門学校	5	7	1	7	5	9	2	2	10	3	1	8	3	1	27	37	64
	進学準備	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	11	16	6	23	10	25	15	3	17	4	3	21	27	8	89	100	189	
卒業生	計	13	27	8	32	12	27	34	6	35	5	4	36	29	9	135	142	277
	合計	40	40	39	40	40	40	40	40	40	38	277	277					

母校の野鳥紹介 35

コサギ

白色のコサギ類を「シラサギ」と大ざっぱに言うことがあります。しかしその白を指すサギは「コサギ」「チュウサギ」「ダイサギ」と繁殖期を終えた「アマサギ」のことなのです。このサギたちは大きさの大小小だけではなく、細かく見ると異なっています。コサギは中でも一番小さいためか、餌も小魚を主に食べています。小魚を河川などで捕るときには、その黒い足の指だけが黄色になっていることから、水面下で水草などに足先を入れて細かく揺すります。すると指の黄色が目立つため小魚が驚き、飛び出したところを尖った嘴でついでむのです。このコサギも以前では普通に本校の池でも観察できましたが、最近は数が少なくなっています。繁殖場所の環境が悪化したのか、またはコサギが特定の小魚という餌に依存しているためなのか、原因はよくわかっていません。(文責 福井強志)



母校の銘木紹介 35

ユリノキ

モクレン科 ユリノキ属
落葉広葉樹で明治初期に渡来、原産地は北米東部で高さ60mを超える高木もある。

ユリノキは葉や花の形に特徴があり多くの別名がある。

チュウリップツリー

チュウリップの花に似る

ハンテンボク

葉の形が半纏はんてんに似ている。

奴胤の木

葉の形が似ている。

軍配の木

葉の形が似ている

本校には森林科学棟が木造の頃校舎の西側にそびえていましたが、校舎の建て替えの時、残念ながら移植できずに伐採されました。現在は農場の動物科学科管理棟の前広場に樹齢二〇年程の木が育成しています。花は黄緑色で、目立たないので見落としやすいが、5月〜6月に咲くので、一度探して見て下さい。



用途は、街路樹・公園・建築・楽器・器具・パルプなどに利用されている。(文責 坂井幸康)

編集余記

母校並びに同窓会の更なる発展を目指し、教職員・生徒一丸となって頑張っています。
同窓生皆様方のご理解・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

紹介

今年度の校内幹事です。宜しくお願いします。



Central Rose Nursery

セントラルローズナーサリー
〒501-004 岐阜県本巣市七五三 一の坪7724
Phone (058) 324-7203 Fax (058) 324-6277
代表取締役 大西 隆 (昭和45年農卒) 裕 (平成7年工卒)



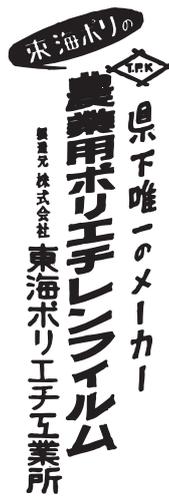
建設コンサルタント

株式会社ユニオン

代表取締役 会長
村橋 元
(昭和37年土卒)

〒501-0106
岐阜市西河渡2丁目57
電話 (058) 253-3111

支店・営業所
名古屋・恵那・高山・郡上・大垣
中濃・各務原・羽島・下呂・掛川
福井



東海ホリエ工業所
東海ホリエ工業所
東海ホリエ工業所

岐阜県羽島郡岐南町野中
☎ <058> 246-1313
名古屋営業所
名古屋市中区西区的川町四丁目
☎ <052> 521-9296

社長 大野 實

総合建設業

株式会社 松野組

代表取締役社長 松野 守男

本社
〒50110223
岐阜県瑞穂市穂積1330番地
TEL (058) 32713200 (代)
FAX (058) 32715700
T50018082
T50018082
岐阜市矢島町1丁目42番地
TEL (058) 26641330
T50112112
山県市大字西深瀬字蔵前1335番地の1
TEL (058) 22212420

山県営業所
岐阜営業所

土木舗装一式請負

郡上 郡上舗道株式会社

代表取締役
高橋 勇
(昭和30年農卒)

本社
岐阜県郡上市大和町剣37の2
電話 <0575> 88-3163
3330
郵便番号 501-4612
北方営業所
岐阜県本巣市三橋712-1
電話 <058> 324-1818
324-7733
美濃加茂営業所
岐阜県美濃加茂市太田町字境松
電話 <0574> 25-8486